



# 惜陰の子ら

令和5年12月  
鯖江市惜陰小学校  
学校だより NO.36

1200 個以上の桜が見事に咲きました。

## 11/25 (土) リサイクル活用品販売会

父母と先生の会 学年委員会の企画で、今年もリサイクル活用品販売会を実施しました。前日までに学校に制服や体操服、絵本などたくさんの活用品が届けられました。委員の皆様には、値札をつけや会場の設営・運営など大変お世話になりました。昨年に続き、たくさんの方の来場により、販売会は大盛況でした。

惜陰っ子たちも、お店の仕事を手伝ってくれました。



## 11/29 (水) こども園 生活発表会 (予行)



せきいんこども園の、生活発表会 (予行) に招待していただきました。3, 4, 5 歳児のクラスとも、歌やダンス、劇を披露しました。練習の足跡が見える、素晴らしい発表でした。本番は12月2日 (土) だそうです。



年長さんは、役を演じながら、背景を変えたり道具をそろえたりもしていました。

## 11/28 (火) 学級レクレーション (5年生)

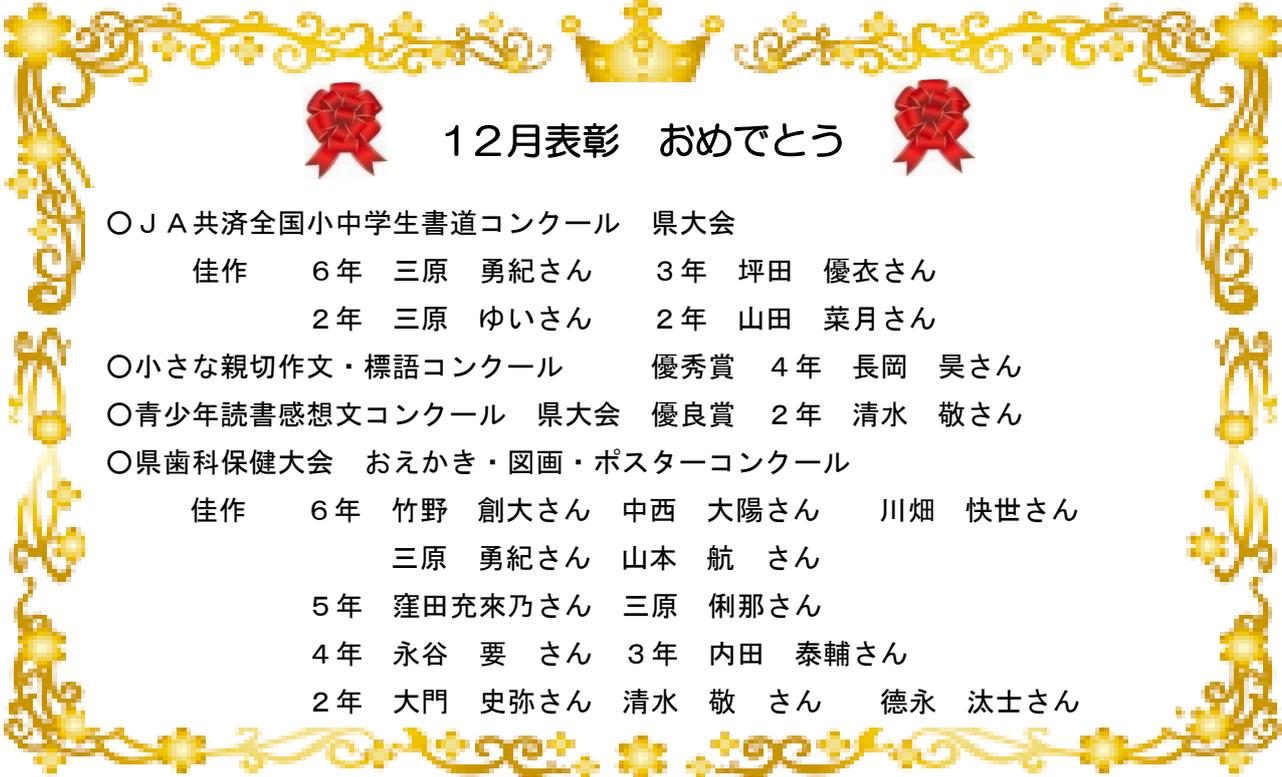
5年生は会社活動 (興味関心が同じ仲間が集まっているいろいろな活動をする) に取り組んでいます。今回は、サッカー会社の児童を中心に、サッカー大会を企画・運営し、学級で楽しみました。

## 図工作品 展示中 (4年生)



新聞紙を丸めて作った細い棒を組み合わせて、創作活動を行いました。乗り物、家、など、グループで工夫し作品を完成させました。





## 12月表彰 おめでとう

○J A 共済全国小中学生書道コンクール 県大会

佳作 6年 三原 勇紀さん 3年 坪田 優衣さん  
2年 三原 ゆいさん 2年 山田 菜月さん

○小さな親切作文・標語コンクール 優秀賞 4年 長岡 昊さん

○青少年読書感想文コンクール 県大会 優良賞 2年 清水 敬さん

○県歯科保健大会 おえかき・図画・ポスターコンクール

佳作 6年 竹野 創大さん 中西 大陽さん 川畑 快世さん  
三原 勇紀さん 山本 航 さん  
5年 窪田充来乃さん 三原 俐那さん  
4年 永谷 要 さん 3年 内田 泰輔さん  
2年 大門 史弥さん 清水 敬 さん 徳永 汰士さん

### 12/4（月）全校朝の会 ～校長先生のお話 自分が一番うれしいこと～

毎年12月4日から10日を、人権週間といいます。「人権」とは「人の権利」と書きます。わかりやすく言うと「一人ひとりが大切にされ、幸せに生きること」です。子どもにとっての人権とは、きれいな水を飲み、栄養のある食べ物を食べ、清潔な服を着て、安全なお家で過ごし、暖かいお布団で寝ることができる、学校で勉強することができる、友だちと仲良く遊ぶことができる。そんな生活です。「そんなの当たり前のことでしょう？」と思う人がいるかもしれません。けれども、世界には、食べ物がない、お家がない、勉強をしたくてもすることができないなど、皆さんが当たり前だと思っている生活が、当たり前ができない、「人権」が守られていない子どもたちがたくさんいます。もしかすると、皆さんの中にも「人権」が守られていない人がいるかもしれません。それは、暴力をうけたり、いじめられたりしている場合です。「人権」とは、「一人ひとりが大切にされ、幸せに生きること」ですから、いじめられて嫌な思いをしていたら、その人の「人権」は守られていないことになります。

さて、話はちょっと変わりますが、アンパンマンの作者である「やなせたかしさん」は「自分が一番うれしいことは、人が喜んでくれること」だったそうです。ですから、やなせやかしさんの思いがこもったキャラクター、アンパンマンも「僕が生まれてきたのは、困っている人を助けるため、泣いている人も僕の顔を食べればニコニコ笑顔になる。そしてその笑顔を見ると僕も笑顔になる」と話しています。アンパンマンは日本だけでなく、世界中の人に知られ愛されています。そして、アンパンに込められたおもしろい、「人が一番うれしいのは、人が喜んでくれること」も、世界中の人に伝わっています。もう一つやなせさんは、自分が一番悲しいことは「人を悲しませてしまうこと」だと言っています。人を悲しませることで、自分も悲しくなる、そんなことが起きない世の中になって欲しいと願っていました。今日から人権週間が始まります。あなたは、「人が喜んでくれることができますか？人が悲しむことをしていませんか？」自分のことを振り返ってみてください。アンパンマンになったつもりで、みんなを笑顔にすることが一番うれしいと言える惜陰っ子であってください。